



2024年5月25日
第180号

JR 東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申 20 号 現場第一線で奮闘する組合員・社員の努力に報いる

「夏季一時金」に関する申し入れ団体交渉開催

組合員・社員の奮闘を無下にする



5月24日、申20号現場第一線で奮闘する組合員・社員の努力に報いる「夏季一時金」に関する申し入れの団体交渉が開催され、本部交渉団が5,200件を超える組合員・社員の声（労働実態・生活実感）を会社に訴えましたが、会社は声を受け止めるとしつつも「夏季手当2.7ヶ月は妥当」「夏季一時金を支払う考えはない」と回答し、回答を修正することはなく今交渉は対立で終わりました。

交渉報告会に参加した仲間からの意見

参加した全ての仲間から
怒りの声が出される！

現場の苦勞を受け止めていない／人員削減が労働条件の向上なのか／変革2027の「社員・家族の幸福」は未だに実現できていない／淡い希望を持っていたが幻想を持ってはいけない／この回答ではモチベーションが上がらない／頑張っているにも関わらず3万円すら出さないのか／一律支給をしないのは期末手当の成績率を見込んでいる／労働条件の最たるものは賃金だ／エンゲージメント向上のためには賃金アップが必要だ／我々の要求が実現していないのに「議論は尽くした」は納得しない／回答に書いてある労働条件の向上は、会社の考える労働条件の向上であって、現場で労働条件向上を実感している人はいない

この怒りを組合員・未加入者と一致させて組織強化・拡大を実現しよう！